



この時期に入荷されているセルリー産地が勢揃い 大田市場でセルリー合同試食宣伝会が開催！

第1回 セルリー主産県8県合同試食宣伝会

- 期日：1月29日(火)
- 場所：大田市場 東京青果(株)
- 主催：セルリー主産8県連 (JA全農いばらき、JA全農ぐんま、JA全農ちば、JA静岡経済連、JAあいち経済連、JA香川県、JA全農ふくれん、JA熊本経済連)
- 内容：セルリーの試食宣伝及び各県セルリー展示とPR

冬春セルリー産地が合同試食宣伝会を開催！

これから3月に入荷ピークを迎える冬春セルリーをPRするために、セルリー主産8県連(茨城、群馬、千葉、静岡、愛知、香川、福岡、熊本)のJA全農県本部や経済連が合同でセルリーでは初となる合同試食宣伝会を開催しました。

H30年都中央セルリー入荷量は、1位が長野県で占有率39%(H30/H25入荷量伸長率83%)、2位が静岡県で占有率26%(同伸長率81%)、3位が福岡県で占有率10%(同伸長率114%)で、群馬県は12位(占有率は0.3%)です。6~10月は長野県が80%以上を占めていますが、11~5月は静岡県主体で様々な産地から入荷されています。

静岡県は冬から春の一大産地で、露地栽培の秋どり栽培とハウス栽培の冬どりと春どりの作型に分かれています。当産地のセルリーは連作による萎黄病等の土壌病害に悩まされてきましたが、は種から移植までの間のハウスを使用していない時期に太陽熱を利用した土壌消毒やソルゴーなど緑肥等の栽培を行って品質の向上を図っています。

産地こだわりの様々なレシピをPR！

今回は、この時期占有率が最も多い静岡県のセルリーを使用した「セルリーのミネストローネスープ」が試食提供されました。これは、株式会社ダイショーとのコラボ企画で、同社の「野菜をいっぱい食べるシリーズ」から「ミネストローネスープ」が使用されました。

試食会場には、8産地のセルリーが展示され(群馬県はJA佐波伊勢崎産)、「これほどの産地が一堂に並ぶことはなかなかない。」と市場関係者も各産地のセルリーの品質を見比べていました。また、セルリーの豆知識や9種類のこだわりレシピ(セルリーの信州おやきやグリーンスムージー等)が記載された長野県と静岡県がコラボしたセルリー簡単おすすめレシピ、この時期の主産県である静岡県産セルリーの紹介や静岡県こだわりの4種類のセルリーレシピ(セルリーの昆布漬けやセルリーと相性抜群のディップソース等)様々なリーフレットが配布され、市場関係者にセルリーの特徴や食味の良さをPRしました。



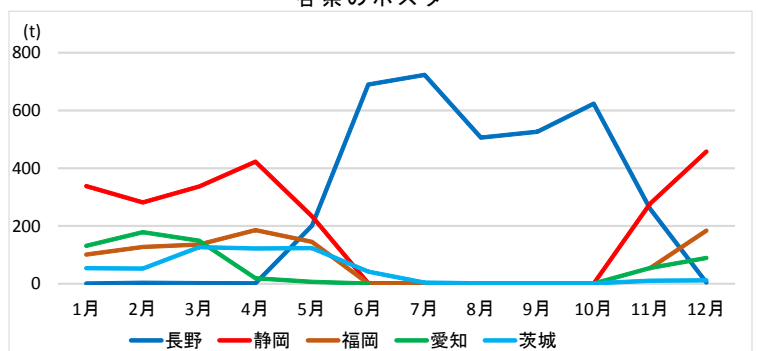
各県のセルリーを展示



各県のポスター



試食宣伝



H30年都中央セルリー一月別入荷量の推移 (上位5県)